

ちよっくらクラブ ～CSから広がる地域連携～

1. 目的と経緯

今年度の第1回学校運営協議会の際、学校と地域の連携について意見交流を行う中で、児童の学習に関わって連携できることもあるのではないかと…気軽に学校に来て児童の学習をサポートするのはどうか…気軽にという意味も込めて「ちよっくらクラブ」と名付けるのはどうか…という意見をもとに、学校で「ちよっくらクラブ」募集のチラシを作成し、上暮地地域の全戸に配布した。チラシを見て数名の方が連絡をくださり、授業等に参加していただいた。



2. 内容

- ①5年生家庭科で、初めての裁縫(玉結び・玉どめ・波縫い・ボタン付けなど)の補助に来ていただいた。
- ②3年生、4年生、6年生の総合で、実際に町を歩きながら今堰や上暮地地域のこと、富士講の人たちが歩いた道と石碑についてお話を聴くことができた。



3. 成果と課題

- ◎初めての糸と針に悪戦苦闘の子どもたちだったが、授業担当だけでなく、地域の方も一緒に寄り添って指導して下さり、しっかりと身に付けることができた。
- ◎地域の歴史について豊富な知識と経験を持った地域在住の方のお話は説得力があり、子どもたちのみならず、担当教員にとっても良い学びとなった。
- ◆地域の方に周知する方法について、今年度は全戸配布を行い、ご連絡くださった方に来ていただいた。今後、この「ちよっくらクラブ」がさらに機能するよう、呼びかけや連絡の方法を検討したり、授業の中で来ていただきたい場面を洗い出したりするなど協力して下さる方を増やし、お願いしやすくする工夫について考えていきたい。